

H24 日光砂防 CCTV 設備等設置工事における安全対策について

宇都宮電子株式会社 H24 日光砂防 CCTV 設備等設置工事

(工期：平成25年4月～平成26年3月)

現場代理人 戸祭 晃樹



キーワード「墜落・転落災害の防止」「現場における安全対策」

1 はじめに

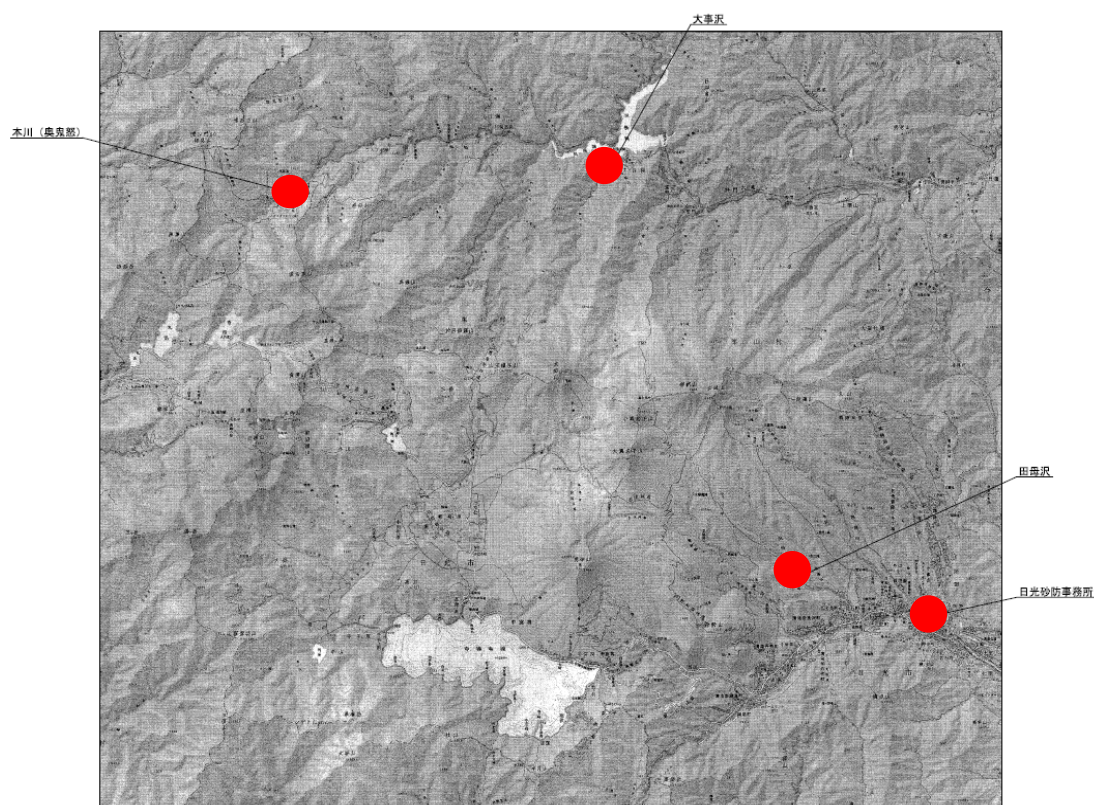
本工事は、日光砂防事務所管内に新たに3箇所CCTV監視カメラを設置する工事です。

本川（奥鬼怒）CCTVカメラについては、商用電源（AC100V）が無い設置箇所であり、ソーラーパネルシステムで動画や静止画を蓄積し、静止画像は衛星携帯電話回線を用いて、砂防事務所へデータ伝送されるシステムです。

大事沢・田母沢CCTVカメラについては、監視映像を光ケーブルを介して遠方に伝送し、伝送先で監視操作する機能を有する設備の設置工事です。これにより土石流などの情報をいち早く収集して、対策樹立や防災情報を広域に映像配信することが可能となる工事です。

工事箇所位置図（4箇所）

位置図



2. 工事概要

工事名 H24日光砂防CCTV設備等設置工事

工 期 平成25年4月27日～平成26年3月31日

工事場所 栃木県日光市川俣地先 大事沢下流第一砂防堰堤ほか3箇所

工事内容

CCTV設備

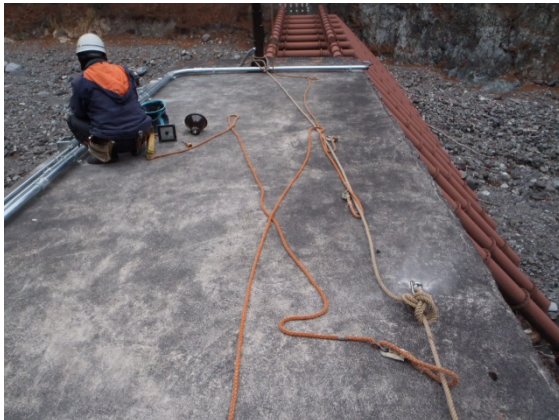
CCTV設備工	事務所設備	1式
	大事沢（CCTV設備工）	1式
	田母沢（CCTV設備工）	1式
	奥鬼怒（CCTV設備工）	1式

3 墜落・転落災害の防止

3. 1 砂防堰堤上の安全対策について

本工事では、砂防堰堤の上部にCCTV監視カメラを設置する工事にあたり、堰堤からの落下事故が予想される為、移動ロープ及び親綱等で安全に作業を行うことが出来る。また、万が一落下した場合ショックアブソーバで落下衝撃吸収をする移動ロープの選定をしました。

使用方法とつきまして、移動している際に届かなくなり外す場合無胴綱になる為、必ずもう片方の移動ロープを付けてから外すように、作業員に周知徹底をしました。



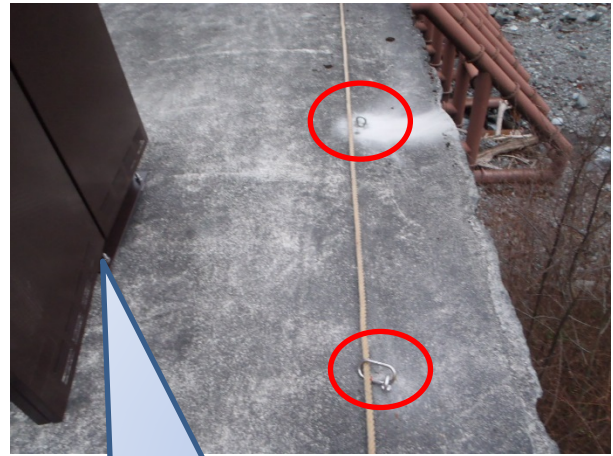
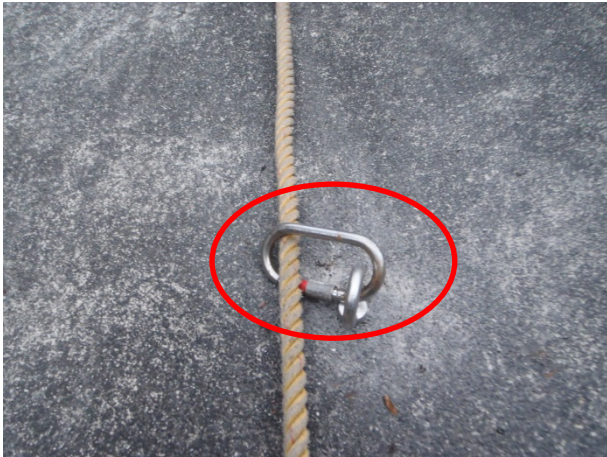
親綱の設置



移動ロープ

3. 2 将来メンテナンス保守実施の安全対策について

今後、CCTVカメラ装置のメンテナンス保守が予想されます。点検中の落下事故を未然に防ぐため、下記の写真箇所に安全帯を掛けるように設置して置きました。



カメラ機側装置盤

4 現場における安全対策

4. 1 連絡体制の強化について

現場では、携帯電話が使用不可のエリアもあるため、緊急連絡体制を確保するため衛星携帯電話及び携帯無線機を携帯し、現場での緊急時、連絡時、登山客のSOSに対応できるようにしました。



衛星携帯電話



携帯無線機

4. 2 機械器具の設置について

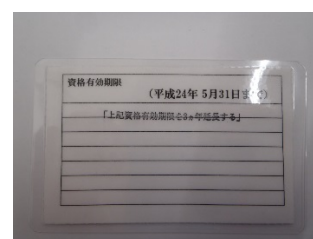
最近では、公共施設や会社等でAED（自動体外除細動器）の設置を多く見かけるようになった昨今、いざという時に備え弊社でも講習会を全員受講し、当現場でも設置することになり、第三者への周知を図っています。

日本では心臓の発作により、突然倒れてなくなる方が1年間に約3万人もいるといわれています。突然倒れた人に対してAEDを使うことにより、より多くの人たちが助かることを願い設置しています。

「AEDの設置表示と認定証」



AEDの設置状況



認定証 (AED を含む)

5 おわりに

安全訓練や安全教育を実施し、日々のKY活動(全員参加：不参加者は作業禁止の周知徹底)を積み重ねることにより、作業員一人一人の安全に対する意識の高揚を図ることが安全施工管理の目的であり、無事故、無災害で工事を完了させることが我々業者の目標です。

現場はこれから最盛期を向かえます。幸いにして現在まで無事故で工事を進行していますが、今後積雪期となり、スリップ事故等の可能性もある為、注意を払い最後まで無事故で工事を完成させたいと考えております。